



夢叶うまで挑戦

◇校長講話: 第1回スクールミーティング(6/26)実施◇

すべての生徒にとってウェルビーイング(幸せ)な南中

先日 6月 26日(水)、校長講話として「第1回スクールミーティング」が実施されました。

校長講話というと、ついつい体育館に集合し、ステージの演壇上から校長先生が全校に対してお話しされるというものを想像してしまいがちになりますが、そうではなく、校長先生の学校運営に生徒の皆さんのお意見を取り入れるために、「全校生徒との対話型オンライン集会」=「スクールミーティング」を行いました。

前回の学校だより No.2 で、PTA 総会での校長先生のお話を掲載しましたが、その冒頭で

(前略) 校長も替わり、「どんな学校づくりを目指していくか」ということについてお話します。学校のビジョン(理想)は、生徒にとってウェルビーイングな場所ということになります。ウェルビーイングとは、今いろいろなところで使われている言葉で、大きくは幸せということになりますが、身体的、精神的、社会的によい状態を指します。自分の居場所が学校にある、やりたいことに挑戦できる学びがあることも大切になります。そのために、やはり「授業」と多感な時期の生徒を支援する「生徒指導・生徒支援」の両輪を軸にした学校づくりをしたいと考えています。 (後略)

2022年12月、12年ぶりに文科省の「生徒指導提要」が改訂されましたが、生徒指導提要改訂に当たり、子どもの権利条約に基づく生徒指導がなされるよう、子どもの権利主体性を踏まえた改訂であること。2022年6月に成立したこども基本法にも触れ、法の理念の趣旨を理解することが必要であり、また「チームとしての学校」の構成員に児童生徒が入り、児童生徒の参画の意義が記載され、子どもの参加する権利の保障が大事であるとされました。校長先生がお話しされていたことであり、今回のスクールミーティングまさにその実現のための第1歩です。



今回の第1回スクールミーティングでは、校長先生から、「すべての生徒にとってウェルビーイング(幸せ)な諏訪南中学校にしていくために」ウェルビーイングとは何かを共有し、タブレットを使って以下の項目について、全校生徒と話し合いを行いました。

質問1 学校生活の中で、ウェルビーイング(幸せ)を感じるときは、どんな場面ですか。

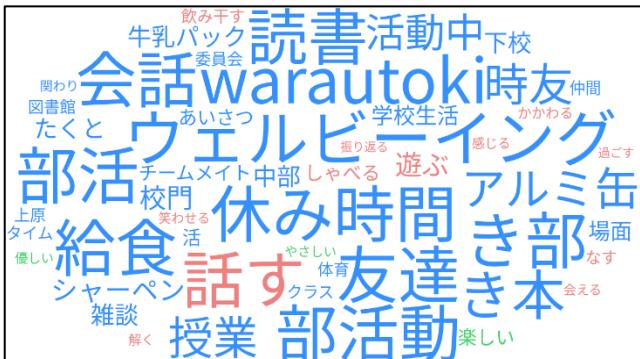
質問2 それはなぜですか。

質問3 授業の中で、ウェルビーイング(幸せ)を感じるときは、どんな場面ですか。

質問4 それはなぜですか。

全校のみなさんから出された意見を、テキストマイニングにまとめたものが以下のものです。

質問1・2の結果



質問3・4の結果



質問1・2では、

友達、話す(会話)、笑う時、休み時間、給食、部活動、生徒会活動など、友達との関わりにウェルビーイングを感じている生徒が多いという結果が出ました。

また質問3・4では、意見交換(話し合い)、協力、教えてもらっているとき、解ける、わかるときにウェルビーイングを感じている生徒が多いという結果でした。

南中生が学校生活や授業の中でウェルビーイングを感じる場面は、共通して「友達との関わりの場面」だということがわかりました。

特に毎日行われる授業では、授業の中で意見を交換したり、問題を解き合ったりすることで、考えが深まり授業におもしろさや達成感につながるという意見もあり、友との関わりを大切にしている生徒が多いようです。

今回の校長講話、スクールミーティング(全校生徒との対話型オンライン集会)を行い、多くの生徒の皆さんと、ウェルビーイングな南中をつくっていくために、前向きな意見をたくさん出してくれました。

初めての試みということでICTの環境や活用の課題も見えてきましたが、生徒のみなさんから出された声や願い、先生たちも大切にして、よりよい学校づくりを目指していきたいと思います。

461名 すべての生徒にとって



ウェルビーイングな南中



みんなで



ウェルビーイングな南中を
つくっていきましょう！！



放送室スタジオより全校へ配信



1年生の教室の様子より



2年生の教室の様子より



3年生の教室の様子より

5月末～6月の南中の様子より

【芸術鑑賞教室】(6月14日)より

去る6月14日(水)、劇団たんぽぽの「ルドルフとイッパイアッテナ」というお話を劇で披露してくれました。小説や映画にもなっている作品ということもあり、また登場する猫や犬を演じる劇団員の表情や動き等、気持ちの変化を上手に表現し、思わず見入ってしまう70分間でした。主人公のルドルフと兄貴分のイッパイアッテナの関わりから「簡単にあきらめてはいけない」というメッセージ性を感じました。



【日赤ギャラリー展】(6月17日～8月末頃まで展示予定)より

6月17日(月)から諏訪赤十字病院の1Fエントランスホール奥、エレベーター乗り場先の壁のギャラリー部分に、諏訪南中2年生が黒い紙に白いチョークで描いた「くつのスケッチ」が20点程飾られています。

どれもこれも力作揃いのものばかりですので、もしよろしければぜひご覧いただけたらと思います。



【かりんの会&2学年職員】カリンの木39本の消毒作業(6月20日)より

去る6月20(木)、朝6時から「かりんの会」の皆さんの協力をいただき、主に2年生がものづくり科の学習として関係している「カリン」の消毒作業を行いました。当日は2学年職員の先生方もたくさん出てこられて、「よいカリンの実になりますように!」と思いを込めて消毒作業をしていました。

今後は、カリン作業で最も重要な「袋かけ作業」を7月12日(金)6校時に2学年全体で行う予定です。このまま順調に生育すれば、南輝祭前後に収穫をむかえる感じになります。今年はどんなカリンの実をつけてくれるか、今からとても楽しみです!



【3学年:性教育講演会】(6月21日)より

去る6月21日(金)、今年で実に23年目(平成14年から)となる中学3年生を対象とした「諏訪市性教育講演会」が行われました。講師は、23年間、岐阜大学名誉教授:近藤真庸(まさのぶ)先生をお招きして実施しています。

私はこれまでに少なくとも7～8回、先生のご講演を聴かせてもらっていますが、毎回先生のお話を聴きするたびに、生きる「生」と、心の「生」＝「性」について、考えさせられます。生きるとはどういうことか、心の生とはどういうことなのか、また、家族や仲間の大切さを、毎回あらためて感じる時間を作っています。



セクハラや生徒に関わる相談窓口は、
保健室(南校舎管理棟1階職員室横西側)
校長室(南校舎管理棟1階職員室横東側)
です。何か不安や悩みがあったら相談を。

諏訪市立諏訪南中学校 文責:市川 寿(教頭)
電話:0266(53)5566 FAX:0266(53)5563
電子メール suwaminami.jhs@suwa-ngn.ed.jp
HP <http://www.city.suwa.lg.jp/site/school/list78.html>

